

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
原価計算論				井上 直樹	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>原価計算の目的と仕組みを学修し、組織の経営実務で必要となる管理会計の基礎を学ぶ。原価計算の全体像を概観したのち、目的に応じて、個別分野ごとに具体的な原価計算の計算手法や特徴などを確認する。</p> <p>本講義では、製造業における原価計算を主な対象としているが、営利・非営利、業種などを問わず、各主体における原価計算上の問題や課題の発見につなげることを目的とする。また、問題や課題解決のために、製造原価情報を適切かつ的確に収集・分析することを目指す。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、原価手法とその利用方法を修得する。その結果、製品やサービスの原価を正確に把握し、組織の生産性向上を目的とした施策を実施できる。</p> <p>原価計算の理解や分析は、自分の手を動かしてようやく身に付くものであるため、特に、日商簿記検定試験を受験する学生は、講義外において、できるだけ多くの問題を解く必要がある。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンスと原価計算の全体像				
第 2 回	原価の概念と計算				
第 3 回	原価の分類と損益計算				
第 4 回	CVP分析(1)				
第 5 回	CVP分析(2)				
第 6 回	原価予測の方法				
第 7 回	予算実績差異分析				
第 8 回	標準原価計算(1)				
第 9 回	標準原価計算(2)				
第 10 回	原価の集計				
第 11 回	在庫の原価				
第 12 回	製品別・サービス別の損益計算書				
第 13 回	総合問題演習と解説(1)				
第 14 回	総合問題演習と解説(2)				
第 15 回	これまでの内容のまとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>授業ごとに前回授業内容に関する小テストを実施するため、毎回1時間程度の復習をしておくこと。</p> <p>次回講義の予習として、テキストの該当箇所を1時間程度事前に読んでおくこと。</p> <p>実際に電卓を使って問題を解くことが、原価計算の理解と上達につながる。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験(80%) 講義中の小テスト(10%) 授業態度(10%)	秀：100点 - 90点 優：89点 - 80点 良：79点 - 70点 可：69点 - 60点 不可：59点 - 0点
テキスト (Textbook)	<b>【書名】</b> 土日で合格る原価計算初級 <b>【著者】</b> 資格の大原 <b>【出版社】</b> 中央経済社 <b>【出版年】</b> 2018
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	岡本清ほか『検定簿記講義/2級工業簿記〔平成30年度版〕』中央経済社、2018年。
備考 (Other Information)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義には、テキストおよび電卓(12桁以上、大きさ：10cm×15cm以上のものが望ましい)を携行すること。</li> <li>・私語厳禁を徹底する。</li> <li>・授業の進捗等を判断し、授業計画を変更する場合がある。</li> </ul>
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールによる予約。